

みどり福祉ホーム通信

みどり福祉ホーム●横浜市緑区十日市場町 808-3 Tel.045(984)7878 / にじいろ●横浜市緑区小山町660-25 Tel.045(482)3717

新年あけまして おめでとうございます



みどり福祉ホームをはじめで知る方もそうでない方もこんにちは。私たちはNPO法人みどり福祉ホームです。今回は、たくさんの方にみどり福祉ホームを知ってもらえるきっかけとなるよう、様々な角度からみどり福祉ホームはどんな所なのか、どんな人が利用しているのかお伝えしていきます。

NPO法人みどり福祉ホームは、横浜線沿いに2つ施設があり、『みどり福祉ホーム』は十日市場駅・今年の4月にオープンした『にじいろ』は中山駅。いずれも駅から徒歩圏内にあります。(2ページの地図参照)横浜市北部で生活している身体・知的ともに重い障害を持った方が通っている施設です。大半の方は自宅から通いますが、中には一人暮らしをしている方や障害を持った方が数人で暮らすグループホームで生活している方もいます。『にじいろ』には医療的ケア※1を必要とする方もいます。

利用者は、明るくて個性的な方が多いです。コミュニケーションは、言葉だけでなく身振りや表情・声・文字盤など、様々な方法で伝えてくれます。ですから、いつもどこかで笑い声が響いています。また、歩く人・車いすを使っている人・車いすの操作がとてもし上手な人がいます。

法人理念である「地域の中で自分らしくいきいきと生きる」そのためには、みどり福祉ホームに通うだけでなく、地域(社会)と繋がることを大切に、公園清掃をしたり地域のイベントに参加したりしています。コロナ禍で以前の様な生活ができないこともありましたが、利用者が自分らしく生きることができるよう、今日もみどり福祉ホームは心地よい時間が流れています。

※1医療的ケア：喉に唾液や痰が飲み込むことができずに詰まってしまう方に対して吸引をすることや食事が口から摂れない方に対してチューブを使って直接胃に注ぎ込む経管栄養という方法など



生活介護事業所 地域活動ホームって何？

生

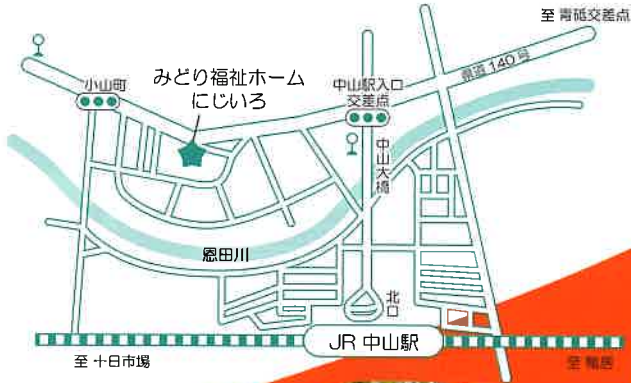
生活介護は、常時介護を必要とする障がい者の社会参加を促すほか、入浴や排泄、食事等の介護、創作活動、生産活動といった機会を提供します。
 その中で自立の促進や生活の改善、身体機能の維持や向上などを図ることを目的としています。また、障がい者の自立支援や社会参加も大きな目的です。

地

地域活動ホームについての紹介をします。
 みどり福祉ホーム（十日市場）

障害者地域活動ホームは昭和54年の国際障害者年を契機に、翌年から活動ホームの設置助成制度が始まり、障害福祉の地域福祉の拠点としてスタートした横浜市独自の制度です。

最大の特徴は、「幼児から大人までを対象としている」ところにあり、障害や年齢を問わずに様々な暮らしの支援をしています。あらゆる障害のある方が通うことができる「デイサービス事業」や、いざという時に地域の障害児者や家族の生活を支える「生活支援」、「地域交流事業」を実施する他、「障害児地域訓練会」への支援を行っています。
 現在市内に地域活動ホームは41ヶ所あります。（機能強化型 23ヶ所 法人型 18ヶ所）一度見学にいらして下さいね。



僕の名前は長谷部稜親（はせべしげちか）です。僕は上管田特別支援学校を2011年に卒業してから、みどり福祉ホームに通っています。今は2021年4月に新しく出来た「みどり福祉ホームにじいろ」に移り楽しみはボウリング！
 今はヘルパーさんにお手伝いしてもらいながら一人暮らしをしています。趣味は出かけること！お出かけ前にはいろいろ調べています。調べることも楽しいです！
 しかし、今、たくさんお出かけすることが難しいので残念。毎週火曜日にはごみ捨ても、積極的に生活して、報告しています。とても楽しく生活しています。
 今日は僕の一日を紹介します。



にじいろ利用者 長谷部稜親さんの！ 一日に密着

家について行って いいですか

どこかで聞いたことあるタイトル？



長谷部さんの一日

7:00 起床 朝食、通所準備、散歩、火曜日はゴミ捨て

9:45 送迎車にてにじいろへ



到着

10:30 朝の会
- 午前活動



昼所 (出勤)

朝の会



朝のお茶

片付けは自分です

広報パネル作り



13:30 午後活動



今日は玄関掃除です

14:10 帰り準備

ちょっとトイレ



*トイレには介助用リフターを使って移動します。

14:45 帰り送迎車出発



15:10 帰宅～自宅着

帰宅後の一杯

今日は訪問看護さんが来て健康チェック



タブレットで調べもの～



お風呂上がり

お話し中

*お話しはトーキングエイドという文字盤を使ってお話しします。

ごはんを食べて～

22:00頃

おやすみなさい!

12:00 昼食



13:00 お昼休憩



昼休み
ちょっと外へ



さくらんぼ会

です。



〒226-0025 横浜市緑区十日市場町808-3 みどり福祉ホーム内 ☎045-984-0801
ホームページ sakuranbokai.jimdo.com/ 「さくらんぼ会」で検索

新年明けましておめでとう
ございます。
【さくらんぼ会】です。
毎日、たくさんの子ども達
が訓練室や交流室を使わせて
いただいています。
所長の鈴木さんや職員の皆
さんが声をかけていただき、
ありがとうございます。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で、活動を制限された令和3年でした。そんな中でも、感染対策には十分配慮しながら、子ども達は毎週元気に活動に参加してマラソンや体操、作業など、自分たちの課題と向き合い、家庭ではお手伝いをする事で、お母さんを支えています。さくらんぼでは、ようやく調理課題に取り組み、自分でおいした林檎やちぎったキャベツを持ち帰る活動ができました。以前は、調理をして、子ども達で食べる、片付ける、までができたのですが、現在は持ち帰るを前提に調理課題を進めています。久しぶりの包丁使いを拝見しましたが、家庭で取り組んでいるのが伝わってきました。

秋には、弘法山へ行きまして。幼児班、学童班と日にちをずらしての山登りでした。親子での山登りを協力者はサポートします。幼児班は時間を十分に余裕を持ちながら、休憩を十分にとってひたすら歩きます。落ち葉の参道は転んでも平気です。澄み切った空気が、ひんやり気持ちよく、青空から富士山も顔を出して

いきました。
幼児さんは、しんどくて泣いたり、怒ったり、気持ちが表情や態度に出て、親御さんはドキドキした事でしょう。山登りは不思議な力があるのか、泣いた子ども頂上で「やったー！」を体験すると、何だかお兄さんに成長してくるのです。みんなが乗り越えた、たどり着いた体験が、後の生活に確実に影響してきます。

学童さんは、もうペタペタ揃い입니다。歩くペースも大人顔負けです。表情も余裕顔、友達との会話も弾みます。早めに登頂し、帰りに、みかん狩りも楽しむことができました。親御さんたちのほうが、息が切れてしまいませんか。

子ども達のための山登りですが、親御さんや協力者にとっても、交流の場です。親御さんの意外な面も知ることができ、実りある活動として続けていきたいと思えます。

コロナ禍になり、当り前の生活が難しくなる中で、子どもを丁寧に育てる意味を考えています。ただ甘やかすだけではなく、愛あるからこそ、その躰、青年期を見据えていくこと、幼児期にたくさんの体験をする、そして、子どものいいところを見つけて褒める、など忘れないうちに思えます。

今年も素晴らしい一年を過ごせますように。

さくらんぼ会では、体験保育を実施しています。いつでも見学可能ですので、子育ての中で疑問や悩みをお持ちの母様たち、ぜひ遊びにきてください。

また、子育てを応援してくださるヘルパーさんも、募集しています。興味のある方は、是非ともご連絡をお待ちしています。

☆ 幼児クラス
水曜日・木曜日
午前9時半〜2時



☆ 学童クラス
火曜日・金曜日
午後3時半〜6時



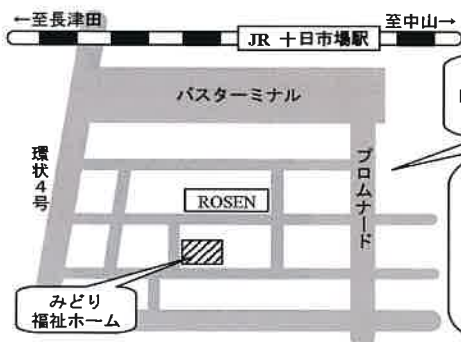




詳しくはお問い合わせを。

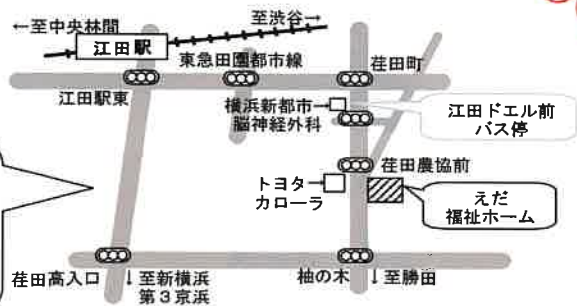
★ みどり福祉ホーム 045-984-0801

★ えだ福祉ホーム 045-911-6968



<みどり福祉ホーム>
JR 横浜線「十日市場駅」より徒歩5分

<えだ福祉ホーム>
・東急田園都市線「江田駅」より徒歩15分
・バス東急バス綱島行き「江田ドエル前」下車2分
・横浜市営地下鉄「中川駅」より徒歩15分



みどり 福祉ホーム 地士或交流



9月から緑区にある「カブカブ竹山」から始まった11回目になるココロはずむアート展に今年も参加。石橋繭子さん、小野寺修一さん、川野啓地さん、深澤実穂さん、松本瑞希さんが出品しました。展覧会の見学にも行く事が出来、他の

事業所と交流を深めることが出来ました。また、緑土木事務所から依頼を受けている石田公園の清掃を行いました。地域の保育園児や幼稚園児が遊びに来ていて、お互いに声を掛け合うなど利用者の方たちと地域の交流が利用者の仕事を通じて出来ていることに感謝しています。

地域のイベント「十日市場アニマルズを探せ」「ひかりの実」にも参加させて頂きました。利用者の中には「アニマルズ」という言葉を覚えて「アニマルズ行く」と言ってお出かけの利用者もいました。みどり福祉ホームにも沢山の地域の方や子どもたちがアニマルズを探しに来てくれました。「ひかりの実」のイベントでは、ワークショップを行い出来た作品を太鼓橋の近くの木に飾って頂きました。また十日市場の駅前で赤い羽根募金に参加しました。利用者の方たちの声が皆さんに届いたと思います。

地域のイベント「十日市場アニマルズを探せ」「ひかりの実」にも参加させて頂きました。利用者の中には「アニマルズ」という言葉を覚えて「アニマルズ行く」と言ってお出かけの利用者もいました。みどり福祉ホームにも沢山の地域の方や子どもたちがアニマルズを探しに来てくれました。「ひかりの実」のイベントでは、ワークショップを行い出来た作品を太鼓橋の近くの木に飾って頂きました。また十日市場の駅前で赤い羽根募金に参加しました。利用者の方たちの声が皆さんに届いたと思います。

地域のイベント「十日市場アニマルズを探せ」「ひかりの実」にも参加させて頂きました。利用者の中には「アニマルズ」という言葉を覚えて「アニマルズ行く」と言ってお出かけの利用者もいました。みどり福祉ホームにも沢山の地域の方や子どもたちがアニマルズを探しに来てくれました。「ひかりの実」のイベントでは、ワークショップを行い出来た作品を太鼓橋の近くの木に飾って頂きました。また十日市場の駅前で赤い羽根募金に参加しました。利用者の方たちの声が皆さんに届いたと思います。

地域の方と協力してワークショップも行いました。障害を持つ家族を撮り続けている後藤さん。身近な素材で作品を制作し、支援者と利用者が一緒に行う様子を後藤さんに撮って頂きました。外部の視点で活動の様子を撮って頂いたことは貴重な経験となりました。一人では難しい制作も利用者との支援者が一緒に行う事を評価して頂き、写真にもそうした後藤さんの視点が活かされて支援者も利用者も沢山学ぶことが出来ました。

その他にも緑区小山町にある畑へブルーベリー狩りを皆で楽しむことが出来、農家の方に大変お世話になりました。地域の皆様に感謝するとともにこれから、地域の方と共にある施設を目指したいと思えます。

本文に出てくる後藤さんのQRコードはこちらです。

ホームページ



インスタ



LOVE_PHOTO3016

LINE



にじいろ 地域交流

にじいろが小山町にできて早8カ月
今回は広報部員のみんなが町内会長の
宮田さんにインタビューをしました！

「にじいろ」に宮田さんから、はまなしを頂きました。美味しかったです、ありがとうございます。ちなみにリンゴは栽培していますか？

やっていない。リンゴは気温が低くないとうまく、育たないので。

はまなしを育てて何年目ですか？育てるのに大事なことはなんでしょうか？

植えてから20年。昔、父親が倒れたことがきっかけで育てている。以前はサラーマンをしていた。4月に受粉、それから大きい実を残して8月くらいから収穫。手を抜くと、しっぺ返しにあって大変になる。愛情をこめて楽しく育てる。

「にじいろ」が小山町に誕生して半年が経ちますが、地域における福祉との関わりをどのように考えていますか？

「にじいろ」の他に2つの福祉事業所がある。今の時代は家族だけで面倒を看ず地域全体で看るべきだと思う。今後、小山町がどうなっていくかわからない部分もあるが、協力していく。



長谷部

宮田会長

長谷部

宮田会長

大滝

宮田会長



小山町 宮田 浩太郎



「にじいろ」ではライフラインが止まる防災訓練を行う予定なのですが、小山町の防災への取り組みを教えてください。

小山町においては、地震による家屋の倒壊・火災・川の氾濫などの危険がある。火災の時にはすぐに消火などの情報共有をしている。川の氾濫も気を付けているが、地元の議員にも恩田川の上流に遊水地を早く設置するよう働きかけている。

小山町の良い所は？

小山町は良い意味で田舎。嫁いでくる人もいた。知っている人も多いし、ほんわかしている所。

野球は好きですか？ちなみにどのチームが好きですか？

小山町には昔からソフトボールチームがたくさんある。現在はコロナ渦で活動は難しいと聞く。昔はチームでキャッチャーをしていた。強いチームが好きかな(笑)

「本日はありがとうございました！今後ともよろしく願います！」

町 小山町は宮田姓が多く、古くから住んでいる人は、屋号で呼ばれている。ちなみに会長は「山下の宮田さん」。

趣味 趣味は写真撮影。カワセミや夕景、朝日などの写真を撮っている。

スポーツ 昔、ソフトボール経験があり、ポジションはキャッチャーだったそうです。

大滝



宮田会長



大滝



宮田会長



平林



宮田会長



広報部 大滝 長谷部 平林



編集後記

今回のみどり福祉ホーム通信では、たくさんの方にわかりやすくお伝えすることをテーマに作りました。読んでくださる方を思い浮かべながら、デザインを作成して下さる『アート屋わんど』さんと相談しながら作成し、お届けしています。この編集後記を読み終わる頃には、『みどり福祉ホーム』や『にじいろ』のことがみなさんの心に届いていると嬉しいです。

寄付

緑区社協善意銀行配分金 物置
赤い羽根共同募金
高橋桂子様